



令和5年9月1日

目黒区立駒場保育園園長

太陽の恵みを受けピーマン、トマト、オクラ等夏野菜が今年もたくさん収穫できました。それぞれ子どもたちが「お願いします」と調理室に持っていき、リクエストしたメニューに調理してもらっています。おひたしやごま油で炒め素材そのものを味わった次は、カレーやラタトゥイユに加えていただきました。自分たちで育てた野菜が入ると一段と美味しく感じたと思います。また、稲も穂が伸び、美しい白い花を咲かせ実りの時を迎えようとしています。

さて、プール遊びや水遊びなど夏の遊びを通して子どもたちは着替えや身の回りことを行う回数が増えたことで、手順や方法を身につけまたは上達したと感じます。幼児クラスではシャワーの後にどこからどのように体や頭を拭くのか、裸にならないで着替えるにはどうするかなど、保育士に教わったり手伝ったりしてもらいながら考えて行かない、脱いだ服をたたんでしまったり、身支度に必要なものが揃っているか確認したりもしています。0、1、2歳児から着替え等を毎日同じ手順で行うことで、自分でもやってみようとするのが少しずつ増え、できることは子どもに任せ、動作に言葉を添えながら援助することで身の回りのことを自分でできるようになることが喜びや自信となることでしょう。時には甘えたい気持ちでできることも「やって」ということや、手伝ってほしい時もあるでしょう。その思いには応えながら一人ひとりの姿をよく見てその子に合った援助をしていきたいと思っています。

吹く風に秋を感じるものの、今年は残暑が続きます。夏の疲れもでる頃ですので、水分補給と栄養、休養に心がけ元気に登園できますようお願いいたします。

<9月の予定>

子どものつづやき

2歳児

ボディペインティングをした手でタライの水を触っていて水が白くなっていました。牛乳のような色の水を見て…

子ども：「このみず、のめる？」

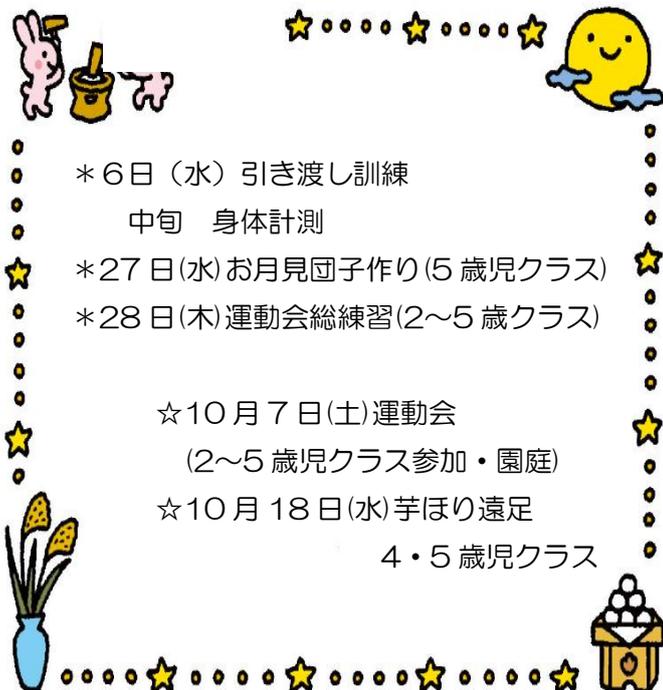
保育士：「濁ってるから飲めないね」

子ども：水に顔を近づけてクンクンと嗅いで…
「におってないよ！」

1歳児

保育士：「お月様がきれいだから帰る時にママと見るといいよ」

子ども「えっおうじさま？」



今月は3・4・5歳児クラスの夏の遊びをお伝えします。

さくら組 「どうすれば割れるかな」

保育士がテラスでテーブルの上にくっつもの氷を並べ、「アイス屋さんです。アイスいかがですか」と声をかけると、“なんだろう”と期待した表情で子どもたちがやってくると「氷だ」と慎重に指先で触れたり、手で持ったりして感触を確かめていました。一人が手で割ってみようとしていましたが、硬くてなかなか割ることができません。「これで割れるかな」と室内から様々な道具を持ってきて、包丁で切ろうとしたり、洗濯ばさみで挟んだりしましたがまだ割れません。そのうちに氷が溶けて小さくなり、手で割ることができました。どうすればできるかと様々なやり方を試したことで、氷の硬さや触っているうちにどんどん小さくなっていく氷の不思議さに気が付いたことでしょう。



すみれ組 「ビート板ですすめたよ」

プールでビート板を使うと、始めはビート板にしがみついたり、掴む腕に力が入ったりしていましたが、保育士が下からお腹のあたりを支えながら体の力を抜いて壁をけるように伝えると少し体が浮き、その瞬間「あっ」と声があがりました。「今、体が浮いてたよ」と言うと、笑顔を見せました。何回かくり返していると、壁を蹴るタイミングと力を抜いて水に浮く感覚が分かり、ひと蹴りで進む距離が少しずつ伸びていきました。その後も数日にわたりビート板を使って楽しんでいると、子どもたちが順番に四角いプールの四隅の壁を蹴って回遊して楽しむようになりました。ビート板が使えるようになると「なくてもできるよ」けのびに挑戦するなど笑顔が輝いていたプール遊びとなりました。



ひまわり組 「2ℓのペットボトルでいかだ作り」

保育園生活最後のプール遊びの楽しみのひとつとして“ペットボトルでいかだを作って乗る”という目標がありました。海賊船みたいにしたい、かわいい飾りを付けたいなど意見が出ましたが、まずはしっかり乗れる丈夫ないかだを作ろうとなりました。去年のひまわり組のいかだを思い出して、2ℓのペットボトルをテープで留めて、スズランテープを三つ編みにした紐で結んでいこうと話がまとまりました。制作段階になるとあっという間にペットボトルの向きを合わせながら長方形に並べて次は「こっちに貼るよ」「ここはもう大丈夫」と確認しながらガムテープで留めていき、三つ編みの紐で結ぶ時は「どこ結ぶ」「そっち持っていて」と声を掛け合っていました。素敵ないかだを作り上げたいという共通の目的のために話し合い、自然と協力し合うその姿に大きな成長を感じました。いざプールに持って行くと、まずはいかだが水に浮いたことに大喜びです。一人ずつ乗ってみるとボトルの潰れる音が聞こえてドキッとする場面もありましたが、終始笑顔でそのままいかだの上で寝転んだり、ひまわり組がリラックスした時のお気に入りの大仏ポーズをしたりしていました。

